

東部湯の丸サーヒスエリアで 農産物直売会 産業経済部会(花岡 保)

(一) 紹介

柵津地域づくりの会では産業経済部が毎年十月に東部湯の丸インター上り線で地元農産物の直売会を開催しています。NEXCO東日本(道路公団)の西側の敷地を借り、テントを張り、地元で採れた新鮮な農産物の販売をしています。

販売は市役所、営農センターはじめJA職員、出荷者、産業経済部員、地域づくりの役員等多くの皆さんの協力により開催されています。午前は八時〜十二時で午後は十二時〜十六時までの二部制でお願いしています。毎年 土産品として買っていく人々が多く、大量に売れております。販売品の主なものは、リンゴ(秋映



え、シナノスイート、シナノゴールド、千秋、ジョナゴールド、紅玉、北斗、王林、アルプス乙女)、リンゴジュース(つがる)、リングジャム(ふじ)、洋ナシ(マルゲットマリナ)、シナノクルミ(生、乾燥)、キノコ(くりたけ、椎茸)、薬用人参(2年生、6年生)、

野菜(中辛ピーマン、ブロッコリー、ミニトマト、紫京菜、からし菜、キャベツ、セロリ、錦糸ウリ)、ブドウ(シャインマスカット)、ブルー(プレジデント、サン)、ヒョウタンなど多品種に及びました。

(2) 経過

9月十九日に営農センターの西沢課長代理とインター直売会の相談をし開催日を本年も十日間をお願いしました。九月二十二日に説明会を開き当番表等の配布をし、西沢さんに説明してもらい関係者多数の出席を頂きました。

十月六日に市役所の土屋さん、営農センター西沢さん、地域づくりの山越、花岡、でインター紅やに開始の挨拶をしました。

十一月五日に地域づくりの山越、白石、花岡、営農センター西沢さんとインター紅やに終了御礼の挨拶をしました。出荷者が昨年より新たに三名増え都合十名を確保でき品物が豊富で助か



りました。

(3) 感想及び御礼とお願

い 十日間、午前午後計二十回の直売会を実施しました。

二度の台風に見舞われ一時中止が各一度ありました。

しかし大勢の皆さんの協力のおかげで事故がなく無事終了することができ、感謝申し上げます。

地元生産の出荷物の新鮮さと味(多くの試食品



『柵津方言カルタ』大会

日時 平成30年1月8日(月)祝日
場所 柵津公民館 2階
参加 園児〜小学生、大人
申込み先 12月18日までに
柵津公民館 TEL.FAX共通
62-0251

あり)や値段が評価され大いに状況を呈しました。ブロッコリー、紫京菜、からし菜、シャインマスカット等の初めてのものも出され全体で数多く買っていたできました。本年は久しぶりだそうですがヒョウタンが出荷販売され大いに賑わしてくれました。

季節がら旅行者が多くまた関東へ向かう方々が大きな客層で、地元からも買いに来てくれた人もいました。

最後に皆さんもいろいろなものを生産していただきこの直売会に出荷してもらえると大変ありがたいです。

柵津地域づくりの会

No. 10

柵津地域づくりの会
事務局
東御市柵津917-4
柵津公民館内
TEL:62-0251
FAX:62-0251

柵津地区

ポールウォーキング教室

生活福祉部会(中村武人)

◆九月二日(土) 晴

トしました。

柵津地区健康補導委員会(土屋正子会長)の共催で講師にみまき温泉診療所理学療法士の半田秀一さんをお招きして、普段あまり知られていないマイナーな柵津地区の史跡を巡りながら、ポールウォーキングを楽しみました。

出発場所の柵津公民館には三十九名の皆さんが集まりました。健康保健課が用意したポールを借りて、講師の半田さんからポールを使った歩き方の講習を受けた後、柵津公民館をスター



い西宮西信号の少し手前で高速道高架下トンネルを抜けて市神の森跡につきました。

ここは江戸時代、柵津地区から善光寺へ向かう街道と、海野へ向かう路が交差する交通の要所で、定期市が開かれていた場所でもあります。ここでも説明を聞いた後、東へ百メートルほど離れた場所にある古大日に行きました。

ここは室町時代から安土桃山時代まで、現在東町にある大日堂が置かれていた場所であります。戦国時代、川中島合戦が行われていた折、武田信玄が上杉謙信に善光寺本尊が奪われてしまうことを恐れて甲斐善光寺へ遷座する途中、一年間ほど借り安置されていたと言



い伝えられている場所です。

ここからは高速道下側の一直線の側道を歩き、市道柵津田中線に出た後は柵津公民館まで上り道を薄っすらと汗をかきながら歩き、程よい運動になりました。

湯の丸高原 ポールウォー キング教室 生活福祉部会 (中村武人)

◆十月二十八日(土)



曇り空でしたが、二十六名の皆さんが参加されました。第二駐車場で、ポールウォーキングの講習を三十分ほど受けた後、第四ゲレンデ駐車場へ向かい、そこから第三ゲレンデ下に行き、新設四〇〇メートルトラックの上の出て、市企画課、関さんの説明を聞きました。

高冷地であるため、基礎部分を非常にしっかりと工事して出来上がったようです。 時期的に少し遅かったですが、静かなしっとりとした高原を楽しみました。

祢津せんべいたんけん 祢津小学校（二年担任） 春原美佐子

「『祢津煎餅』に描いてある絵の場所をたんけんしてみたい。」子どもたちの思いからスタートした「祢津せんべいたんけん」と「祢津せんべい焼き体験」。



七都石神社石

「祢津せんべいたんけん」では新屋の七都石神社、金井河原、御姫尊、榎の木、定津院、羽衣荘に行ってみました。実際に自分たちの足で歩き、体験してみると新しい発見の連続。たんけん後の子どもたちの感想には、こんなことが書かれていました。



七都石神社は新屋の守り神として四百年くらい前にたてられたそうです。神社の石に座ったら、涼しい風が吹いてきて、丸山晚霞さんになった気分でした。

「金井河原の虫の聲」の虫は、すず虫やきりぎりすで、絵の黒いところは、木なんだと分かりました。金井は、昔は中央公園のところだったけど、こう水で家や人が流されて、今の場所になったそうです。「戌の満水」ということも分かりました。

御姫尊には、昔、本当にお姫さまがいたことが分かりました。

榎の木は、六百才だと聞いて、すごく長生きだと思いました。榎の木の中は、木のおいが「ぶうん」としました。

定津院のざせんでは、ぐらぐらしないで、何も考えずにできました。何かをやっている『十分』は短く感じるけど、何もしないでいると『十分』がすごく長いと思いました。

「『祢津せんべい焼き体験』では「見て見て。このせんべいは『御姫尊の紅葉』だ。」



御姫尊岩井堂



榎の木

の聲』を焼いてみたい。」等の声が聞こえ、たんけん後の子どもたちは、自分たちが見てきた場所とせんべいの柄をつなげ、せんべいの柄もよく見ていました。

せんべいを焼くとき「ギョッ」という音がし「せんべいが泣いてるのかな。よるこんでいるのかな。」と歓声も上げていました。

「祢津せんべいたんけん」で子どもたちは、自分の五感を通して、祢津には素晴らしい場所や歴史があることを感じる事ができました。自分たちのふるさと「祢津」を思う気持ちも生まれました。そして何より

も、祢津地域づくりの会の皆様にお世話になり「祢津には、自分たちのためにこんなにしてくださる温かい人たちがいる。」ということも感じる事ができたように思います。「『祢津鑛泉の御湯』って温泉？祢津に温泉があるの？行ってみよう。」との声。子どもたちのたんけんはまだまだ続きます



定津院座禅体験

祢津史跡巡り

教育文化部会（別府英宣）

◆九月二十三日（土）

、教育文化部会の主催で「祢津史跡巡り」が行われました。当日は祢津保育園の運動会と重なってしまいましたが、参加者が危ぶまれましたが、十六名に来ていただきました。

去年は松平氏の時代（江戸時代）でしたが、今年は祢津氏の時代（江戸時代以前）を中心に組み、蔵手刀出土の地（古御館）、祢津氏建立の定津院、祢津氏の墓所、カヤの木（祢津氏居館跡）、宮嶽山陵神社（祢津氏祖先の貞保親王を祭る）、祢津城山（下の城）を巡りました。

講師には石川好一先生をお願いしました。ご高齢にもかかわらず、足が速く坂道や山道も難なく上られます。解説は丁寧で、親しみやすい口調の解りやすいものでした。



蔵手刀出土地（柳橋家）



榎の木

から、ここでは火祭りによって周りを照らしてあげる行事があります。毎年四月の第二土曜ですので関心のある方はお出かけください。火祭りがあるので「火の宮」



宮嶽山陵神社（四宮）



城山裏側（北）の急登

当日のお天気が心配されましたが、巡り歩きには程よい天候になりました。城山からは秋の黄色く色づいた田んぼが見わたせ爽快な気分を味わいました。



祢津氏墓所

